

防災アップデート①

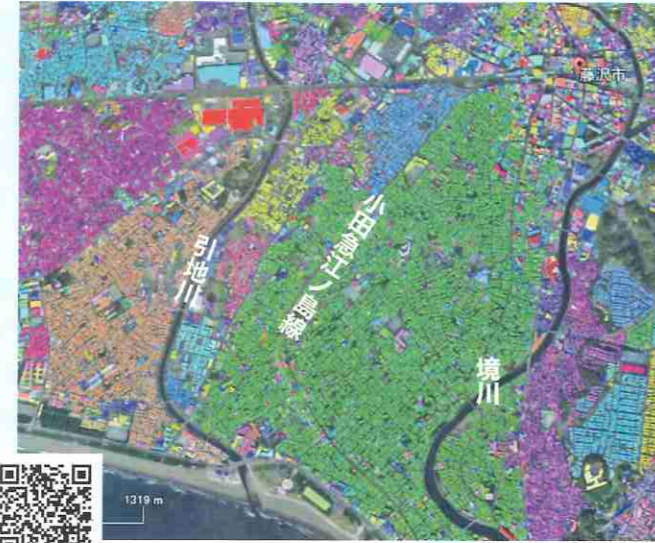
知ってるつもりの防災知識、今号からご一緒に見直しましょう。第1回は火災についてです。

地域を知る 本号特集記事の小川氏の防災講演はいかがでしたでしょうか。記事中でご紹介した「延焼運命共同体」が右図です。これは一軒の家から出火した場合、貰い火がどこまで広がる可能性があるかを色ごとに表したものです。(地図は2006年当時) 鶴沼地区の大半が緑色ですが、同じ色のひとかたまりが「延焼運命共同体」で、一軒の出火でこの範囲に燃え広がることを表しています。

住宅一軒ごとの建物データを用い、各建物の防火性能に応じた延焼限界距離を設定し、隣棟間隔がそれよりも小さい場合、延焼すると判定して作画してあります。時間による推移を省き、焼け止まりの範囲をわかりやすく可視化したものです。街全体として構造的な対策の必要性が見えてきます。研究結果は「延焼運命共同体」で検索できます。右図の出典はこちらから→

- 火災における自助**
- ・ 地域を知る
 - ・ 出火防止、初期消火
 - ・ 安全に避難する
- 火災における共助**
- ・ 地域の力の結集
- 火災における公助**
- ・ 地域に即した防火対策
 - ・ 地域計画

延焼運命共同体 (神奈川県藤沢市、首都圏郊外)



出典：東京大学 加藤孝明教授

家庭の備え

火事を出さないため、初期消火をしやすくするために、布類(カーテン・寝具・洋服等)を燃えにくいものに整えましょう。

洋服などを選ぶ時、流行や色柄だけでなく、素材の燃えにくさも選択のポイントです。

防災カーテン、防災寝具は積極的に選びましょう。「防災」と言っても燃えないわけではなく、燃えにくいだけです。右下の写真のように火災時の差は歴然です。

昔からウール100%の毛布の防災性能は言われていますが、最近では新しい素材も続々開発されています。基礎知識に新知識を合わせ、素材を選んで安全に暮らしましょう。下の表は繊維素材の基礎知識です。

繊維	燃焼熱 (Kcal/g)	発火温度 (°C)	融点 (°C)
羊毛	4.9	570-600	溶融せず、炭化
綿	3.9	260	溶融せず、炭化
アクリル	7.6	470-530	240-320
ポリエステル	5.7	490-560	250-290
ナイロン	7.9	490-580	160-260
ポリプロピレン	11.1	570	160-170

ニッケグループ HPより



防火加工あり 防火加工なし

消防庁ホームページ (http://www.fdma.go.jp/)

編集後記 トルコを襲った大地震。他人事ではありません。明日は我が身と改めて“地域の防災力”を見直す機会に。(H)

5年に一度の消防展今年開催です!



右：消防庁HPより布製ブラインドに着火後35秒経過の画像。左のブラインドには防災加工があり、なかなか着火しない様子が見える。

鶴沼自治連だより

第51号 2023年3月25日発行

発行/鶴沼地区町内会自治会連合会
 発行人/石井 博之
 事務局/鶴沼海岸2丁目10-34
 鶴沼市民センター内
 Tel.33-2001・FAX 33-2203

鶴沼自治連は鶴沼地区の町内会・自治会の横のつながりです 防災を核として地域生活の向上を図っています

鶴沼地区自治連 20周年記念表彰 長年の自治連活動に感謝



北島 令司
相談役



林 三郎
相談役



長瀬 輝行
相談役



野村 京子
相談役



2月10日自治連理事会の様子

鶴沼地区自治連は、2000年(平成12年)9月3日に設立総会を立ち上げ規約を開示し、翌年2001年(平成13年)6月3日の総会で事業計画・予算・人事構成等を発表して大海原に乗り出しました。

発足時に参加の町内会・自治会は28団体、現在の50団体と比較し約半数強の加盟状況でのスタートでした。しかも、その後脱会する団体もあった様です。立ち上げに奔走された方々の中で100歳を超えてなお、お元気な北島令司様、発足時から執行部の役職に付き尽力された林三郎様、長瀬輝行様、野村京子様は、様々な辛酸甘苦を経て、今日の自治連の基礎を築いて戴きました。

4人の方々は、現在相談役として執行部をサポートして戴いております。

自治連創立20周年にあたり長年のご尽力に感謝の意を表し、感謝状を贈呈させて戴く次第です。

なお、発足時から携わって戴いた方は4人の方々の他に森井時夫様がおります。現在も執行部の副会長としてご活躍中であります。

新型コロナウイルスの影響により、20周年記念行事が延びのびになってしまったこととお詫び申し上げます。

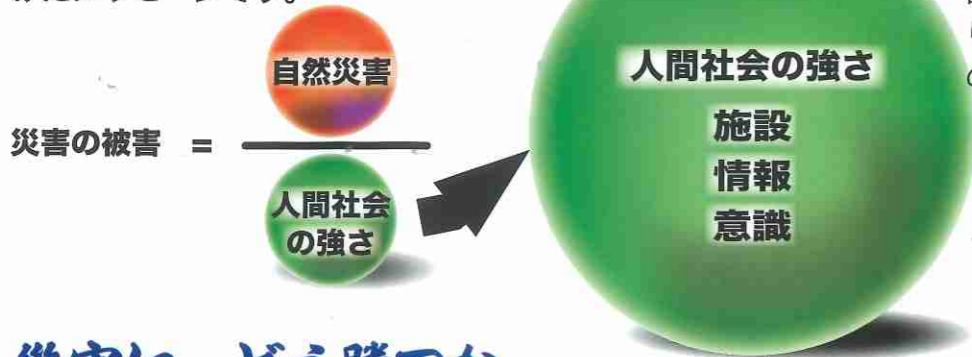


鶴沼地区自治連会長
石井博之

地域の防災力

(一財)アジア防災センター理事長 小川雄二郎 氏

2月10日(金)自治連理事向けに行われた講演会およびその準備委員会からエッセンスをまとめました。日本全国、また国際的な経験を積まれた研究者であり、当地をよくご存じの小川氏から鶴沼に向けたメッセージです。



災害に、どう勝つか

自然災害は人間には制御できません。ではどう対処するか。上の図をご覧ください。災害がそのままの強さでも、私たちが社会を強くすることで相対的に被害を小さくできることを表しています。私たちは耐震基準を改定しながら**施設**を強くし、さまざまな知見を集めて緊急地震速報など、**情報の強化**を図っています。それらを活用する私たち一人ひとりの**意識**が人間社会を強化します。



各種防災マップ、チェックしていますか？

「敵を知り、己を知れば、百戦危うからず」とよく言われます。藤沢市では各種ハザードマップを発行して啓発に努めています。「ふじさわ防災ナビ」も発行して、全戸配布しています。これほどの情報を活用しない手はありません。

これらの情報は常にアップデートされ、かつてのものと見比べるとその違いに驚きます。また、備えも地震、津波、土砂災害だけでなく、近年は富士山の噴火にも注意する必要があります。しかし全てに完全に備えるのは限界があります。

自助とは、共助とは、公助とは

では、どう備えてゆくのか。自助、共助、公助と分け、役割を理解しましょう。

まず、自助ですが、ここで問題になるのは「正常性バイアス」です。正常性バイアスとは、異常なことが起こった時に「大したことはない」と落ち着こうとする心の安定機能のようなものです。日常生活では、不安や心配を減らす役割があります。しかし、緊急事態では逃げ遅れなど、危険に巻き込まれる原因にもなります。*1

「鶴沼は大丈夫」「都合の悪いことはうちには起きない」そんな心の声を封じて対策をしましょう。そこから自助が始まります。

さて、自助(個人)でも、公助(国、自治体)でもできないところをするのが地域の力(共助)です。具体的には災害被害を減らすためのインフラ整備(整えるのは国、自治体=公助)を地域の实情に合っ

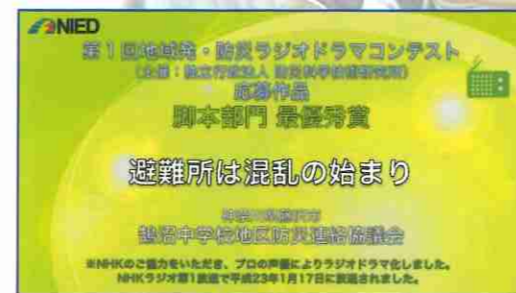
た形で陳情、誘導するのが地域の働きです。

今、鶴沼に必要なインフラとはなんでしょう。私の友人で東京大学教授の加藤孝明氏が全国の詳細な地図を調べ、地震火災リスクを可視化した研究成果があります。「延焼運命共同体」という考え方です。(裏ページの記事をご参照ください。)

その結果は、鶴沼地区はどこか一軒で火災が発生すると、いずれほとんどの家が一緒に焼けてしまうという衝撃的なものでした。画像を見ると、小田急江ノ島線の線路をも乗り越えて火災が燃え広がる計算になっています。線路を取り巻く地域が防火・準防火指定になっていないからのようです。あくまで試算であり、風速や時間の経過などは計算されていません。しかし自分の町の構造を知っておくことは大切です。

鶴沼地区では道路整備が遅々として進んでいません。木造家屋の密集した、火災には弱い地域ですが、私たち住民が意識を持って行政に働きかけなければ現状は変わりません。もちろんその場合には住民同士の衝突も起きるでしょう。しかしどのような町を未来に継いで行きたいかが問われているのです。

どのような町を目指すかを考えるにあたって、各町内会、自治会で、まず自分たちの町をよく知ることから始めましょう。町歩きを実行している町内会、自治会は鶴沼にもたくさんあります。ど



↑「避難所は混乱の始まり」NHKによるドラマ化作品

鶴中防災会ラジオドラマ*2 QRコードからYouTubeに飛ばす鶴沼海岸5丁目町内会ラジオドラマは防災科研のページから読み込めます。「鶴沼海岸5丁目町内会ラジオドラマ」で検索を！

うぞ継続して続けてください。町は変わり、人も入れ替わります。また、子どもは成長し、新たなメンバーが加わってきます。

鶴沼のレガシー

鶴沼には防災のレガシーがあると聞きました。鶴沼海岸5丁目町内会、また鶴沼中学校地区防災連絡協議会でラジオドラマを制作したとのこと。鶴中防災会(略称)の作品は防災ラジオドラマコンテストで最優秀賞を取っているではありませんか。ぜひ聞いて活用してください。

地域で防災の意識が高まればみんなで協力しよう、痛みにも耐えようという気運にもなるでしょう。また、地域の必要に応じて、ペットをどうしよう、今は勧められていない車での避難もありなのかも知れない、など論点もいろいろ出てくるでしょう。

みなさん、それぞれの町内会、自治会で活発に活動を起こしてください。住民みんなの意識が高まることこそ防災の第一歩ですから。

今回の講演の資料は右のQRコードから閲覧できます。→



講師 小川雄二郎 氏
一般財団法人アジア防災センター理事長
辻堂地区防災協議会会長

- (略歴)
- ・東京大学博士(工学)取得
 - ・財団法人都市防災研究所研究部長
 - ・国際連合地域開発センター防災計画主幹
 - ・一般財団法人アジア防災センター所長
 - ・富士常葉大学大学院環境防災研究科教授
 - ・定年退職後 辻堂東海岸3丁目町内会防災部

*1 日本赤十字社 HP より *2 画像は防災科学技術研究所提供

おすすめサイト紹介

防災科研 地震10秒診断

災害のニュースを見て、ふと、鶴沼はもしものときどうなるのだろう?と、思ったときにおすすめのサイトです。

スマホやパソコンで今いるその場所で、もしもの時にライフラインがどうなるかが見られます。また、震度によって変わる、停電復旧までに○日、

ガス復旧までに○日という情報が見られますので、備蓄準備の参考にできます。右のQRコード、または「地震10秒診断」でご検索ください。



画像提供・防災科学技術研究所 日本損害保険協会

自治連防災統括部部長・大田さんのおすすめ!

防災良書紹介

貸し出しは市民センターを通して直接大田まで

『感染症×大規模災害 分散避難と避難所運営』

著者: 山村武彦

『だれもが〈助かる〉社会—まちづくりに織り込む防災・減災』

著者: 渥美公秀・石塚裕子

『災害から命を守る「逃げ地図」づくり』

著者: 逃げ地図づくりプロジェクトチーム

いろいろな情報は「鶴沼自治連だより」フェイスブックをチェック!

※本紙掲載のQRコードはリダイレクト設定をしていません



ひとこと情報欄

切って電話機に貼っておこう!

110番に電話して良いかわからない。でも**ストーカー・DV・悪質商法**など警察に相談したいことがある。そんな時には警察相談専用電話「#9110」を活用しましょう。

警察相談専用電話

#9110

神奈川県警察本部 045-664-9110